

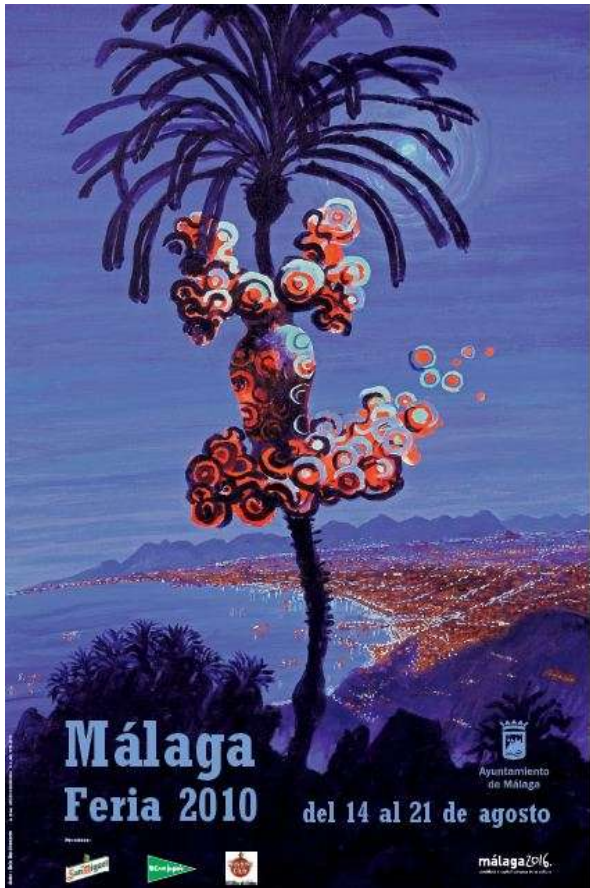


Costa アミーゴス

発行者 : Costa Amigos 事務局
Chie Ito, Sanae Yoshioka
Editor: Chie Ito
Reporter: 記事中心記載
Designer: Chie Ito
TEL: 95 221 4998
E-mail: costaamigos@gmail.com

スペインの今、スペインとエリアのニュース、わが町、食、コラム、旅

2010 マラガフェリア 8月13日-8月21日



今年のマラガフェリアは8月13日から8月21日に亘って開催される。マラガフェリアは8月13日23時50分に開会、今年はマラガ出身のスペインのポップバンド Danza Invisible のボーカル JAVIER OJEDA SERA が PREGÓN (開会宣言) を行う。

それに引き続き00.25よりマラゲッタのビーチでは MIGUEL BOSE のコンサートが開演する。8月14日はセントロのパルクから11.00に華やかな祭り衣装に身を包んだ乗馬、馬車のパレードが発し、EL SANTUARIO DE NTRA. SRA. DE LA VICTORIA にロメリア (参詣) が行われ献花をする。

マラガ旧市街で繰り広げられる昼間のフェリアは、ラリオス大通りでのベルディアレスの演奏、そしてセントロ各所に設けられるカセタの中で各種芸能の公演が行われる。またフェリア期間中、マラガの闘牛場、マラゲッタでは連日19.00より闘牛が開催される。

マラガセントロの郊外にある夜のフェリア会場 Real de la Feria (Cortijo de Torres) は8月14日21.30に開場する。こちらへはマラガ市内からシャトルバスが運行。51万2千平米の会場には150を越すカセタが設置される。市の運営するカセタや AUDITORIO MUNICIPAL ではたくさんのアーティストが招かれ連夜コンサートが開催される。またフェリア広場では、日中に馬の参加するお祭り「Feria de Caballo」が開催されており、着飾った乗馬姿の男女、美しく飾りつけた4頭引きの馬車など、昔ながらのフェリアの一面を眺めることが出来る。8月21日の24時フェリア広場での花火をもってマラガフェリアは閉会される。

2010年フェリアポスター JOSE LUIS BOLA BARRIONUEVO 作

オバマ大統領夫人がコスタ・デル・ソル滞在



Michelle Obama 大統領夫人が8月の第一週に娘の Sasha ちゃんを伴い、マルベージャの Benahavis にある豪華ホテル Hotel Villa Padierna にプライベート休暇で滞在する。

8月4日がオバマ大統領の49歳の誕生日で、大統領が夫人一向に合流するという憶測も流れたが、大統領はメキシコ湾 BP の石油流出問題等の国内問題対応に多忙を極めており、その可能性は薄そうである。一家のもう一人の娘、12歳の Malia ちゃんはワシントン D.C. の近隣でのサマーキャンプに参加して家族ホリデーには不参加。

コスタ・デル・ソルの旅行業界関係者の間では今回の訪問により、Marbella の高級リゾートとしてのステータスが世界的にアピールされ、これまでの汚職と不況の Marbella のイメージを一新するものと期待を持って見ている。

<http://www.hotelvillapadierna.com/>

コスタ・デル・ソル便利な番号

マラガ

| | |
|------------------|--------------|
| マラガ空港 | 95 204 84 84 |
| 到着 | 95 204 88 38 |
| 出発 | 95 204 88 04 |
| バスターミナル | 95 235 00 61 |
| 消防 | 95 230 60 60 |
| Policia Nacional | 95 204 62 00 |
| Policia Local | 95 212 65 00 |
| Guadia Civil | 95 239 19 00 |
| RENFE | 95 236 02 02 |
| Carlos Haya 病院 | 95 239 04 00 |
| Civil 病院 | 95 230 77 00 |
| Hospital Clinico | 95 228 80 00 |
| タクシー | 95 233 33 33 |
| 観光案内 | 95 221 34 45 |
| 市役所 | 95 213 50 00 |

トレモリノス

| | |
|------------------|--------------|
| バスターミナル | 95 238 24 19 |
| 消防 | 95 238 39 39 |
| Policia Nacional | 95 238 99 99 |
| Policia Local | 95 238 14 22 |
| 救急 | 95 238 64 84 |
| タクシー | 95 238 06 00 |
| 観光案内 | 95 237 95 51 |
| 市役所 | 95 237 94 00 |
| 外国人居住者案内 | 95 237 42 31 |

ベナルマデナ

| | |
|----------------------|--------------|
| バスターミナル | 95 244 35 63 |
| Policia Nacinal | 95 244 29 24 |
| Policia Local Pueblo | 95 257 98 53 |
| Policia Local Arroyo | 95 257 98 53 |
| ヘルス・センター | 95 244 04 04 |
| タクシー | 95 244 15 45 |
| 観光案内 | 95 244 24 94 |
| 市役所 | 95 257 98 91 |
| 外国人居住者案内 | 95 256 12 31 |

フエンヒーローラ

| | |
|------------------|--------------|
| バスターミナル | 95 247 50 66 |
| Policia Nacional | 95 247 32 00 |
| Policia Local | 95 247 31 57 |
| 消防 | 95 246 10 46 |
| ヘルス・センター | 95 246 88 35 |
| タクシー | 95 247 10 00 |
| 観光案内 | 95 246 74 57 |
| 市役所 | 95 258 93 00 |
| 外国人居住者案内 | 95 258 93 78 |

ミハス

| | |
|-----------------------|--------------|
| Policia Nacional | 95 249 20 69 |
| Policia Local Mijas | 95 248 62 28 |
| Policia Local Lagunas | 95 246 09 09 |

| | |
|--------------|--------------|
| Guadia Civil | 95 248 50 18 |
| 救急車 | 95 246 09 09 |
| ヘルス・センター | 95 259 05 13 |
| 市役所 | 95 248 59 00 |
| 外国人居住者案内 | 95 248 59 00 |

マルベージャ

| | |
|------------------|--------------|
| バスターミナル | 95 277 21 92 |
| Policia Nacional | 95 282 23 53 |
| Policia Local | 95 282 74 74 |
| 消防 | 95 277 43 49 |
| ヘルス・センター | 95 282 48 02 |
| タクシー | 95 277 00 53 |
| 観光案内 | 95 282 35 50 |
| 市役所 | 95 276 11 00 |
| 外国人居住者案内 | 95 276 11 16 |

その他

| | |
|----------------|--------------|
| 救急車 | 061 |
| Sevillana 電気 | 902 509 509 |
| Telefonica 電話 | 1004 |
| 電話番号案内国内 | 11818 |
| 電話番号案内国際 | 11825 |
| 日本大使館 Madrid | 91 590 76 00 |
| 総領事館 Barcelona | 93 280 34 33 |
| 在日スペイン大使館 | 03 3583 8533 |

コスタの今

Malaga FC 新オーナー

今年の6月下旬にマラガFCがカタールの王族の一員である、Sheikh Abdullah Bin Nassar Al-Thani 氏 (43)に3,600万ユーロで買収された。前オーナーであった Fernando Sanz 氏の所有株と負債を同時に引き継いだ形になる。今後、潤沢な資金が注入されチームの成績がどうなるか楽しみなどところ。Sheikh Abdullah Bin Nassar Al-Thani 氏の率いる投資団はマラガFCの他にも Marbella などでの大規模な投資を予定しており、自治体やビジネス界からもその動向が注目されている。

Malaga 地下鉄工事進行状況

ここ数年、マラガの地下鉄建設が進んでいる。最近のマラガ Maria Zambrano 駅から Guadalmedina 川を繋ぐ工事は非常に大規模なものになっている。今後、工事は幹線部分となるマラガセントロのアラメダ・プリンシパル、エル・バルケへと進む。マラガセントロの地下トンネルの長さは1085m、この工事一番の難関ポイントとなると言われている。トンネルが最も深くなるのが Guadalmedina 川の地下の掘削で川床から地下12m、Plaza de la Marina 地下15m、La Malagueta 地下12m、この幹線上に Plaza de la Marina 駅、Malagueta 駅が設置される予定である。工期予定は36ヶ月、開始は2011年5月以降、12,500万ユーロの大規模な工事で、建築中は市内交通の混乱は必須。

Malaga マラガの出生率現象

国家統計局のデータによると、10年にわたって伸び続けていたマラガの新生児の出生率が2009年に6%の減少に転じた。経済不況と移民の流入減が大きな理由とされる。実際、2008年の出生数19,015人に比較すると、2009年は17,877人、県内の病院で生まれた新生児の数は1,138人減少している。失業不安が人生設計に大きな影響を与えている。

<http://www.booking-by.net>

Booking-by.Net

英語&スペイン語 留学

スペイン・イギリス・アイルランド留学 コンサルティング力、情報収集力、交渉力が違う！

E-mail : info@booking-by.net TEL: +34 95 221 4998 FAX: +34 95 221 1349

オンライン無料留学コンサルティングサービス、無料手続き代行、ヨーロッパの地の利を生かしマルチ言語を身につけよう。

スペインでスペイン語、イギリス・アイルランドで英語研修、留学情報なら！**Booking-by.Net** サイトをご覧ください。

ロンドン滞りに当社ロンドン宿泊施設をご利用下さい。アールズコート Nevem House シングル 1週間 245.00ポンド

スペイン内戦と日本人 1 三澤康彦

新シリーズ連載

自伝的随筆をまとめた1冊の本に「断橋」というタイトルをつけようとした一人の男がいた。

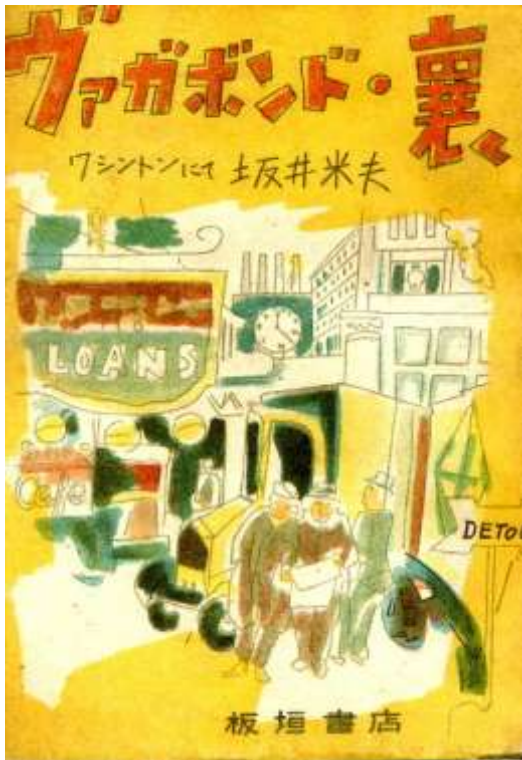
断橋とは橋を断つということ。よく日米の“架け橋”などという言葉が使われるが、彼は自分にとってのその架け橋を、気持ちの上であえて断とうとしたのかもしれない。

彼は1900年に日本で生まれた。まさに20世紀を生きることになるのだが、それはまた実に過酷な歴史の時代でもあった。その頃の日本は来るべき戦争へと突入していくための国家体制作り、すなわち天皇制軍国主義の台頭と、超国家主義の構築が強権をもって進められ、世は閉塞の状況を呈していた。1904年に日露戦争が起こり、1910年には朝鮮を植民地化し、1914年には第一次世界大戦が始まり、そして1931年には満州事変から日中戦争へと突き進んでいくといった戦乱の時代であった。

彼はそれを嫌って26歳の時、即ち1926年にアメリカに新天地を求めた。アメリカを選んだことにさほど深い理由はなく、そこには日本に無い自由や、少しはましな生活があるだろうくらいのものであった。

彼の名は坂井米夫、日本にいた時からジャーナリズムの世界で少し仕事をした経験もあってアメリカでも邦字新聞の手伝いから始めて、以降さまざまな新聞社の特派員的な仕事をするようになる。しかし、彼の頭の中には、自分は国籍は日本人であるが日本を捨ててしまった、さりとてアメリカ人でもないという思いがあり、そんな自分を常々ヴァガボンドと称していた。英語で書けばVagabond これは放浪者、さすらい人の意である。

しかし、彼は決してそこらをさまよい歩く放浪者などではなかった。その後も、アメリカで新聞記者的な仕事を重ねてきた彼は、1930年代の暗雲漂う中近東など世界10数か国を取材して廻り、それらを「ヴァガボンド通信」として発表した。そしてそれらの中にはスペイン内戦の記録も存在したのである。



彼がスペイン内戦(1936年~1939年)を取材したのは1937年6月から9月にかけての3か月であるが、「ヴァガボンド通信 スペイン戦線に行く 1」では、先ずフランコ政権の代表部があったポルトガルのリスボンに入り、そこからセビリアを經由してアルヘシラスそしてマラガと廻りグラナダ、コルドバを訪ねている。その後再びセビリアに行き、メリダを經由してサラマンカに入る。サラマンカではフランコ将軍にも会っている。サラマンカからはトレド、そしてマドリード近郊のブルネテを訪ねるが、ここではフランコ側の外人部隊に日本人義勇兵がいて、その兵士は共和国軍の戦車を2台も分捕った勇者なので会ってみたいかという話もあった。ここからはビルバオを經由していったんフランスに入る。

「スペイン戦線に行く 2」では今度は南仏トゥールーズから空路バレンシアに入りムルシア、アリカンテ、ハエン、マドリード、バルセローナと共和国側の陣営を廻って歩くが、バレンシアではブルネテで戦死した国際義勇軍の日本人兵士についての話を隊長から聞いている。

この通信を読むと、両者の側に日本人兵士がいたことが分かるが、内戦が如何に複雑かつ凄惨なものであったかが伝わってくるし、今日我々が平和を享受しているこのスペイン各地、身近でいえばマラガなどでの民衆の痛々しい被害の様子をも生々しく読み取ることが出来る。そして、このスペイン内戦を命をかけて両陣営の側から取材したのは、各国記者の中で彼一人であったとも言われている。

その後、太平洋戦争が始まるとアメリカから日本に送還される機会がなくもなかったが、彼は自由のない日本に帰ることは拒み、戦争中は日系人収容所に拘置された。

彼がまとめた「断橋」では、自伝的主人公の名が襄となっている。この本は日本で1948年に出版されたが、タイトルはさる人の判断で「断橋」ではなく、本人へのことわりなしに「ヴァガボンド・襄」とされた。英語に直せば「Vagabond Joe」である。この年彼はまだ48歳で、自伝といっても半生のもと言えようが、彼が意図した「断橋」とは1945年までの日本を指しての思いなのか、だとすれば戦後の自由と民主主義が芽生えた日本にどう向き合えばよいのか、ヴァガボンドの千々なる思いが推察される。

この1948年からは彼の「アメリカ便り」の原稿がNHKラジオで毎週日曜日に朗読されることになり、それは彼が病に倒れる1952年まで続けられた。この放送は私の記憶にも残っている。坂井米夫は1978年にワシントンで死去した。

参考 「ヴァガボンド・襄」 「動乱のスペイン報告 ヴァガボンド通信 1937 SPAIN」

見つけた！わが町のスポット カサレスの隠れ家



南スペインも次第に夏の雰囲気が高まってきました。週末はとくにビーチの人出が増えています。そんな人の多い沿岸部から離れて、ちょっと特別な時間を過ごそうと思ったら・・・ここ。

エステポナの山の手には、カサレスという白い村があります。そのカサレス村に入る手前にはコルク櫨の生育する緑の美しい山間部の田舎風景が広がります。この真ん中に隠れ家のようなホテルとレストランがあると耳にして、出かけてみました。メインの道路から一本入ると、ええこんなに激しいと思うほどオフロード地帯が約2キロ、ぼつぼつと別荘の建つ山のなかに、ひっそりとした佇まいのホテルエルミタージュに到着。

昨年の10月に開業したばかり、客室15室のアットホームなホテルです。目の前はプールと緑の森、レストランも眺めの良いテラスに設置されて、それはもう、心からリラックスできる環境。遠くにはジブラルタルとアフ

リカも見えます。このときは泊まりでなくレストランをお目当てに出かけたのですが、期待していたお食事もおいしく、サービスもよく、自然のなかでのんびりと現実を忘れて、素晴らしい午後を過ごすことができました。食後はテラスのソファーに移動して、くつろいでコーヒーをいただきました。ああ美味しかった。また行きたいなあ。

ホテルエルミタージュ HOTEL HERMITAGE DE CASARES

<http://www.hotelhermitage.es>

Paraje de La Celima S/N Carretera de Casares MA-8300, Km 10,
29690 Casares (Málaga) Tel: 952 895 639 Fax: 952 894 145



地中海歴史の散歩 28

前回はイスパニアに於けるローマの影響を述べたが、ローマもイスパニアから見返りとして得たものも多かった。莫大な鉱物資源や農業産物は帝国の台所を潤したし、この地から三人の皇帝（アントニウス・ヴィウス、トラリアヌス、ハドリアヌス）を送り出したし、何人かのラテン文学の巨星も輩出した。イスパニアは、ローマ全州の誇りであったのだ。

長いローマ化のプロセスは時に抵抗も受けながらも実に多様な分野で、多様な形で始まったのだ。

道路、橋梁、導水渠などの建築物が最も目を引いた。ローマ人は古代史に於ける偉大な建築者であり、34の幹線道路、全長21,000kmでイスパニアの全域を結ぶ最も整備された道路ネットワークにより、大幅な都市化や都市の統合も進んだ。初期の道路の中には、ピレネー山脈から Gades (ガデス、現在のカディス) に至る地中海沿岸道路であるヘラクレス街道（現在の N-340）があり、国の心臓部を走るアウグスタ街道などがあるが、史家はこれらの街道が少なくとも1920年代までは、スペインで最良の現役道路であったと指摘されている。



イベリア半島は、二つの州に線引きされた。Hispania Citerior と Hispania Ulterior であり、Cartago Nova（現在のカルタヘーナ）と Corduba（現在のコルドバ）が夫々の州都に定められた。ローマ人はやがて鉱物資源、特に貴金属である金の採掘に目を付けるが、これは何世紀も後代になってメキシコやペルーの鉱床にスペイン人が狂奔するのと全く同様であった。史家ギボンの記述によれば、スペイン各地から毎年10トンの金塊を算出したと言う。既に存在したリオ・ティント（赤い河）の銀山は大きく規模を拡張したし、カルタヘーナでは4万人の奴隷が銀鉱山で働いていたと言う。農業分野も重要な経済的支柱で、ローマ人は灌漑のシステム、広大な土地とマンパワーに頼る大規模農法を奨励した。

スペインの馬は勇猛で俊敏なことが評判で、ローマの円形競技場で活躍したし、オリーブ油、ワイン、果物、小麦などは豊富に生産された。魚の塩漬け加工はバエティカ（現在のアンダルシア）では重要な産業であり、もっと重宝されたのはガールム（一種の魚のペースト）の生産で、ローマ人はカクテル・タイムにこれを好んだと言う。

筆者は、スペインへ来て間もなく、フエンヒローラのソアイル (Sohail) の城塞跡の海岸沿いの遺跡発掘に地元アマチュア・ボランティアグループとして参加、ガールムの生産工場遺跡を発掘することになったが、資金が充分集まらず途中で断念せざるを得なかった苦い思い出がある。その時はローマの遺跡などアンダルシアでは日常茶飯事の存在で、カネにならない遺跡は無視され、その上に新しい建物が造られると言う蛮行が当たり前という現実に驚いたものだ。（黒川 和直）

季節の食材 チコリのサラダ Ensalada de Endibia con Queso Azul

今年も厳しい夏がやってまいりました。なんとなく食欲がわかないときに、元気の出るお料理を紹介します。これ一品でワインもすすみます。



作り方

1. チコリの葉を一枚ずつはがして、皿に並べます。
2. その上に、細かくくだいたブルーチーズとくるみ、スライスした新たまねぎ、クコの実をのせていきます。
3. みじん切りにしたパセリをふりかけ、塩コショウ、ワインビネガー、オリーブオイルで味付けします。

材料

チコリ Endibia
 別名 菊にがな、アンディーブ、ベルギーチコリ、錐形で白と黄色のほろ苦い野菜
 ブルーチーズ
 くるみ
 新たまねぎ
 クコの実 Bayas del Goji
 パセリ、塩、コショウ
 ワインビネガー、オリーブオイル

日本のドレッシングのように、混ぜ合わせず、そのままお好みでサラダにふりかけるのがスペイン流です。オリーブオイルは多すぎるかなと思うくらいたっぷりの方がおいしく仕上がります。

クコの実は、こちらではBayas del Gojiと呼ばれ、最近、普通のスーパーなどでみかけるようになりました。中華料理ではおなじみの食材で、赤い小さな甘い実です。中国では漢方薬としても用いられ、血の病によいとされています。こちらスペインでもコレステロールの低下、糖尿病の緩和、婦人病の予防、などなど万能食材とうたわれています。ほんのり甘く食べやすいので、そのままでも、サラダに、ヨーグルトと一緒に、もちろん炒め物にも使えらと思います。

スペインの長い夏、日本の蒸し暑い夏、おいしいものをたくさんいただいて、負けずに乗り切ってまいりましょう。(吉岡 砂苗)

世界食べ歩き

食欲の減退しがちな暑い夏、そんな時に、食べたくなるのはカーッと辛いスパイシーな食べ物。インド料理！コストにインド料理のレストランは数あれど、美味しいところを見つけたと思うと、ある日突然味が変わってしまうのです。インド料理の場合、オーナー＝シェフというのはまずあり得ないので、察するところシェフの動きがわりと激しいようですね。

そこで、今回はFuengirolaで最近私の気に入っている、お薦めのパキスタン系インド料理のレストランご紹介！

Indian Restaurant Balti and Curry House Paseo Maritimo, 98 Edif. La Concha 2 29640 Los Boliches Fuengirola
TEL 952 196 405 (Delivery/Bookings) 672901480



Balti and Curry House バルティ カレーハウスはTorreblancaのビーチフロントにあります。場所はRenfeのTorreblanca駅とLos Boliches駅のちょうど中間地点です。どちらの駅からも徒歩約15分くらい。

外のテラス席ばかりのこじんまりとしたレストランです。私たちは夜に行くことが多いですが、いつもほどほどに混んでいます。パキスタン人？のお兄さん二人がオーナーなのですが、いつもサービスは気持ちよく、ここに来るといつも気合いを入れてメニューを見てしまいます。とにかく、種類が多い！皆さんも行ってみると分かると思いますが、ここまで種類が多いと、インド料理のメニューなんて何がなんだか出てくるまで分からないと思いませんか？よく知られたものを除いて、心して新しい料理にトライしています。

前菜はオニオンパジ、タンドリーチキンやサモサ、色々取り交ぜた盛り合わせも美味しかったです。カレーはレストランのお薦めメニューの中で、Chatneywala, Garlic Chilli Chicken, Karahi Dish, Balti, Pathia、(肉はそれぞれお好みを選ぶ)が心に残っています。辛さの調節もしてくれます。ナンもアツアツでこれとカツと辛味の効いたカレーソースの味わいがなんとも言えません。いつもはかなり辛い肉系カレーとマイルドなベジタブル系などを取り合わせてオーダーしています。何を頼んでも満足できる味わいです。

そうそう、インドの地ビール、コブラも軽くて料理に合いますね。

お値段もほどほど2人で前菜、カレー2-3品、ナン、ライス、ワイン一本、約30ユーロ+程度。近隣のデリバリーもあり。ぜひ試してみてください！

Santiago de Compostela 旅日記 3 (伊藤 茂/宮子)

サンティアゴ巡礼って？ 巡礼の道って？ 全行程800キロを歩く？ こんな疑問から始まった夫婦の旅。

一昨年、縁あって芸林夫婦、上野夫婦とレンタカー2台で連れ立って、フランス「LOURDES」の巡礼地を訪ね、多くの人々が奇跡の聖地を訪ねる姿を見て、「この人々を奮い立たせている源は何なんだろう」との思いを馳せながら、今回も先回芸林民夫氏が後ろバンパーに付けた痕跡の残る車で、今は亡き人生の大先輩民夫氏の思い出とともに巡礼の旅は続く。



20日曇り

サンセバスティアンから海岸ルートを走りビルバオへ向かう。

ビスケー湾を右に見て、入り江の多い海岸沿いや山手の小道を上り下りしながら、細い県道や国道を走る。

この細い道にも Camino de Santiago の道標が確りと立ち、それ程メジャーでないルートでも整備と管理がされている事は、このスペインにして大した物だとうなずく（スペイン関係者には、ごめんなさい）。

途中、巨匠パブロ・ピカソの傑作ゲルニカのレプリカがある町、ゲルニカに立ち寄り観光の後、2006年世界遺産に登録された鉄橋ビスカヤ橋を見学、そのまま車ごとゴンドラ状態で対岸に渡り、橋の見える昔の宮殿を改装したホテルに宿泊。

21日曇りのち晴れ

快晴なら「紺碧の大西洋を見ながら」の景色が見れず、残念であった。さらに追討ちをかけたのがパンク（全行程唯一のアクシデント）。カンタブリア海の潮風を受けながら、10分の休憩と考えスペアに取り換える。

途中19世紀末にスペイン王家の夏の離宮があった、サンタンデルのマグダレナ半島の高級リゾート地を見る。貴族の館が立ち並ぶ中世の町サンティリャーナ・デル・マルで12世紀に建てられた参事会教会、家々に今も残る立派な紋章、中世そのままの街並みを散策、アルタミラの洞窟博物館に立ち寄り、今回の海岸ルート中間地点のヒホンで宿泊。

ここアストゥリアス地方はリンゴ酒（シードラ）の産地であるが、アルコール類に弱い二人は、それでもビールを頼みソパ・デ・マリスコス、鳥賊のシードラ煮、ジャガイモのフリットで頭の上から腰の高さのコップにシードラを注ぐ独特の技を見ながら舌鼓。

22日晴れ

多くの巡礼者が、ここヒホンからアストゥリアス地方の都がレオンに移されるまでの首都であったオビエドを目指したに違いない。これから今回ルートをとどる旅の目標であるレオンへと向かう。その途中にあるオビエドはレコンキスタ発祥の地とされる。何回かの労働者の蜂起やフランコ軍との戦闘で町は破壊されたが、今は大きなカテドラル周辺に世界遺産に登録された歴史地区が残っている。中でも市内からバスで10分の8世紀から10世紀に建てられたと言われる、ナランコ山に残る世界遺産サンタ・マリア・デル・ナランコ教会、200m離れた処に在るサン・ミゲル・デ・リーリョ教会は必見である。

ローマ時代からの石柱の彫刻は風化で丸みを帯びているが、今でもはっきりと聖人や動物が見て取れる。

ツーリストオフィスのおばちゃんが仕事仲間と話し、「中国人か日本人が来たよ」と言いながら中国人に間違われ、日本人であると少し強く言うとおばちゃんが謝りながら数冊のガイド地図をくれたのには、面白かった。

この中の Camino de Santiago のガイドでは、オビエドのカテドラルに4方向からのルートが交わり、その中心で在ったことがうかがえる。ゆっくりとその数々を見るのはまた来た時に残し、レオンへ向かう。



スペインの食材でこれ作ろう

第六回 鮭ちらし寿司

芸林 みつ

マラガは暑い日が続いているでしょうね。食欲が落ちたら、さっぱりとした「ちらし寿司」はいかががでしょうか？北海道のちらし寿司と言えば「鮭ちらし」です。

入れるものはいろいろ工夫してみてください。

パーティ用にはこのままでもいいですが、鮭、きゅうり、卵を酢飯に交互に挟んで押し寿司にしてもいいです。



材料（4人分）

材料：（米3合分）

- 米・・・・・・・・・・3合
- 塩鮭・・・・・・・・・・3切れ（鮭の切り身に塩を振って置く）
- きゅうり・・・・・・・・・・1～2本
- 白ゴマ・・・・・・・・・・適量
- 卵・・・・・・・・・・1～2個

作り方

- ① 米は炊いて寿司酢を合わせておく。
- ② 鮭は焼いて骨と皮を取ってほぐしておく。
- ③ きゅうりは薄輪切りにして塩を振って軽く水気を取る。
- ④ 卵は錦糸卵を作っておく。
- ⑤ 寿司飯に②と③と白ゴマを混ぜ込み、上に④をちらす。

*寿司酢は酢60cc、砂糖70g、白ワインかMalaga seco 30cc、塩大さじ1/2を鍋に入れ火にかけてナベ底にプツプツの気泡が出てきたら火を止める。沸騰させない。

*パセリは青ジソの代用です。日本で使われているパセリではなく私たちが「イタリアンパセリ」と呼んでいるものです。以前マラガの苗屋さんで鉢植えを見つけたので「イタリアンパセリをください」と言ったら、「これはスペインパセリだ」と言われました。*パセリではなくきゅうりの薄輪切りに少し塩を振ってしなっとさせて、水分を取ったものでもいいです。

*海苔を持っている時は細かく切った海苔を掛けてもいいです。

*暑い日には30～40分冷蔵庫で冷やして食べてもおいしいです。

ロンドンでフラワーアレンジ

伊藤 千恵 (www.booking-by.net 留学)

「その国に行って学ぶ」お稽古留学、今回はフラワーアレンジの本場ロンドンで本格的なアレンジを身につけられるジュディス・ブラックロック・フラスクールのお花コースをご紹介します。世界各国から生徒さんが集まって、英語でアレンジを学ぶ質の高いコースです。目的に合わせて様々なトピックが選べます。人気があるのがフラワービジネスのコース。この2週間でフローリストとしてのスキル、ビジネスの基本知識を学ぶことができます。また花市場マーケットツアーは旅行のアトラクションとしてもぴったり。安い航空券を見つけて気軽に飛べるのがロンドンの魅力です！



| 8月 | コース内容 | 料金 |
|-----------|-------------------|-------|
| 2-6 | 1週間集中 フラワーデザイン | £995 |
| 9-10 | コンテンポラリーデザイン | £450 |
| 12-13 | 帽子用アレンジ | £296 |
| 14 | フローラルペインティング 水彩画 | £95 |
| 17-9 Sept | ディプロマ フラワーデザイン | £795 |
| 20 | ロンドン花市場マーケットツアー | £80 |
| 9月 | | |
| 8 | 秋の花 | £220 |
| 9-10 | 帽子用アレンジ | £296 |
| 9-30 | フラワーデザインイブニングコース | £498 |
| 13-24 | フラワービジネスコース (人気!) | £2450 |
| 27-1 Oct | 1週間集中 フラワーデザイン | £995 |
| 28-19 Oct | ブライダルフラワーマスターコース | £580 |
| 10月 | | |
| 6-8 | ブライダルフラワー 3日間コース | £660 |
| 18-29 | フラワービジネスコース (人気!) | £2450 |
| 11月 | | |
| 4 | 花瓶用フラワーアレンジ | £220 |
| 9-11 | フラワーデザイン 3日間コース | £660 |
| 23-3 Dec | フラワービジネスコース (人気!) | £2450 |
| 12月 | | |
| 7-8 | 教会用フラワーアレンジ | £440 |
| 10 | 伝統的クリスマスアレンジ | £220 |
| 11 | コンテンポラリークリスマスアレンジ | £220 |

ご予約、お問い合わせは spain@booking-by.net まで

お知らせ掲示板

1 LDK アパートメント短期貸し。
プール、ガーデン。Fuengirola
Puebla Lucia フェンヒローラ中
心、駅徒歩3分、ハイクオリティ
物件、短期1週から12週まで。
TEL: (+34) 610 438 699 イトウ
E-mail: spain@booking-by.net

El Pinillo タウンハウス貸し
プール、ガーデン、駅徒歩10分
長期貸し希望、条件応談。
TEL: (+34) 610 438 699 イトウ
E-mail: spain@booking-by.net

イギリス、アイルランドで英語を
勉強してみませんか？カントリ
ーサイド、英語研修&ホームス
テイ、ご相談ください。
info@booking-by.net
Tel 95 221 4998

Libreria Cinco Anillos

Juan Carlos さん五輪書店
C/Mariblanca 6, Malaga
Tel: 952 22 1748
火曜日 日本語
19.30-
水曜日 墨絵・書道
12.00-14.00, 18.30-20.30
その他展示など。

Flamenco Show 月-金 Restaurante Vino Mio

C/Alamos 11, Malaga
Tel 952 60 9093

**掲載については
tel:610438699**

Teatro Cervantes

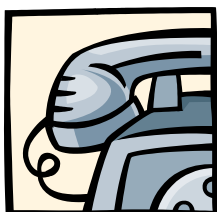
www.teatrocervantes.com

2010/9/10.11
RUSIA ATAVICA 1
マラガ交響
2010/9/17.18
RUSIA ATAVICA 2
マラガ交響
2010/9/23.24.25.26
Teatro-circo 劇場サーカス
NEBBIA
2010/10/13
TANGO DE BURDEL, タンゴ
SALON Y CALLE
2010/10/15.16
EN BUSCA DE LA LUZ
マラガ交響

2010/10/29.30
ROMANTICA
マラガ交響
2010/11/5.6
EN TORNO A SCHUMANN
マラガ交響
2010/12/3.4
MAHLER 2010-2011
マラガ交響
2010/12/17.18
NAVIDAD マラガ交響

Museo Picasso

www.museopicassomalaga.org/
2010/5/17-9/5
Picasso. Horses
2010/6/28-9/12 特別展
Bill Viola Obras Figurativas



掲示板掲載、広告、お問い合わせは、**コスタ・アミーゴス**

事務局：伊藤 千恵 (Chie Ito)

Apartado de Correo 527 29080 Malaga

TEL: 95 221 4998 FAX: 95 221 1349 E-mail: costaamigos@gmail.com <http://www.costaamigos.org>

コスタ・アミーゴス会報に掲載されている記事、広告は、事実に基づいた正確な内容であるべく努めておりますが、記載内容から発生したご購読者への如何なる不利益にもコスタ・アミーゴス事務局は全く関知致しません。

コスタ・アミーゴス 会員募集中

Costa del Sol にお住まいの日本人の皆さん、日本から Costa del Sol へのご滞在をお考えの皆さん、コスタの日本人サークルにご参加なさいませんか。コスタ・アミーゴスは地域の情報交換を目的とした互助サークルです。現地でより快適な暮らし、充実した生活を実現させるための情報を提供します。会誌 Costa アミーゴスの発行（年4回）、定例会、親睦活動を行います。海外会員へはコスタデルソル現地情報提供、宿泊先情報提供など、皆様の現地滞在のための良きサポート役となっております。年会費：現地在住者お一人 30.00EUR、日本からの御参加 95.00EUR（会報の郵送費含む）

ご参加希望者は、入会フォームをご請求ください。担当：伊藤

Raronet S.L.宛て Apartado de Correo 527 29080 Malaga

TEL: (+34) 95 221 4998 E-mail: costaamigos@gmail.com

コスタ・アミーゴス ホームページ

<http://www.costaamigos.org>

編集後記：暑中お見舞い申し上げます。マラガにも本格的な夏がやってきました。沿岸部の人口も増えてきましたね。夏はコンサートやフェリア、イベントの季節、家に閉じこもらないで涼しくなった夜に頑張る外に出ましょ！健康管理にご注意を。(伊藤千恵)

Costa Amigos - the only Japanese circle on the Costa del Sol. We would welcome you to join us if you are interested in Japanese culture / language and would like to participate in any of our activities or if you would like to promote your business to Japanese residence on the Costa, please contact us the address above.

Costa Amigos - El único club japonés en Costa del Sol. Desearíamos darle la bienvenida y contar con su presencia si están interesados en nuestra cultura o nuestro idioma y participar en todas nuestras actividades o desean promover su negocio e intercambios comerciales con residente japoneses en Costa del Sol. Por favor contacten nuestra dirección precitada.